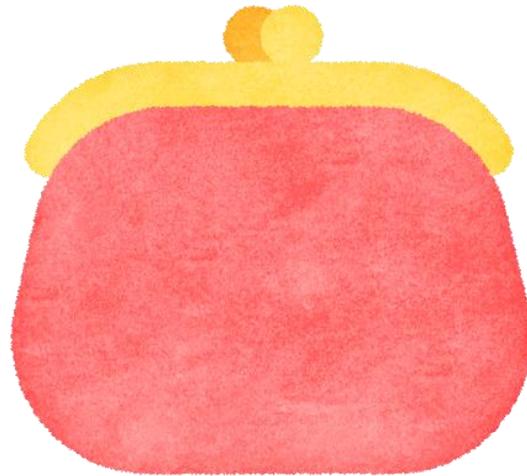


20年後にいくらつくりたい！
からはじめる資産運用



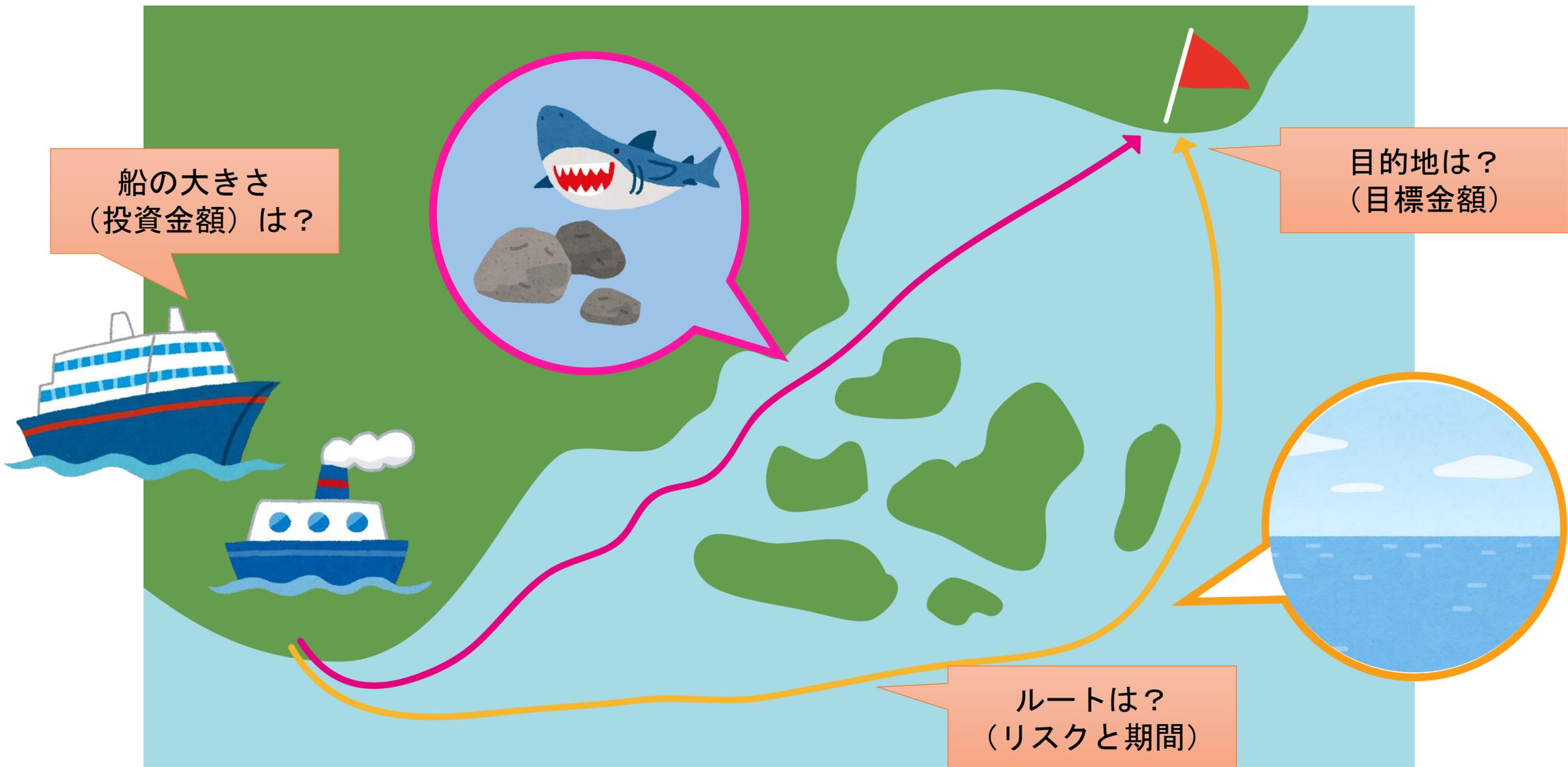
「耐久力」と「増殖力」をふまえて考えてみましょう！

私の20年後の目標額

万円



資産運用と航海は似てる？

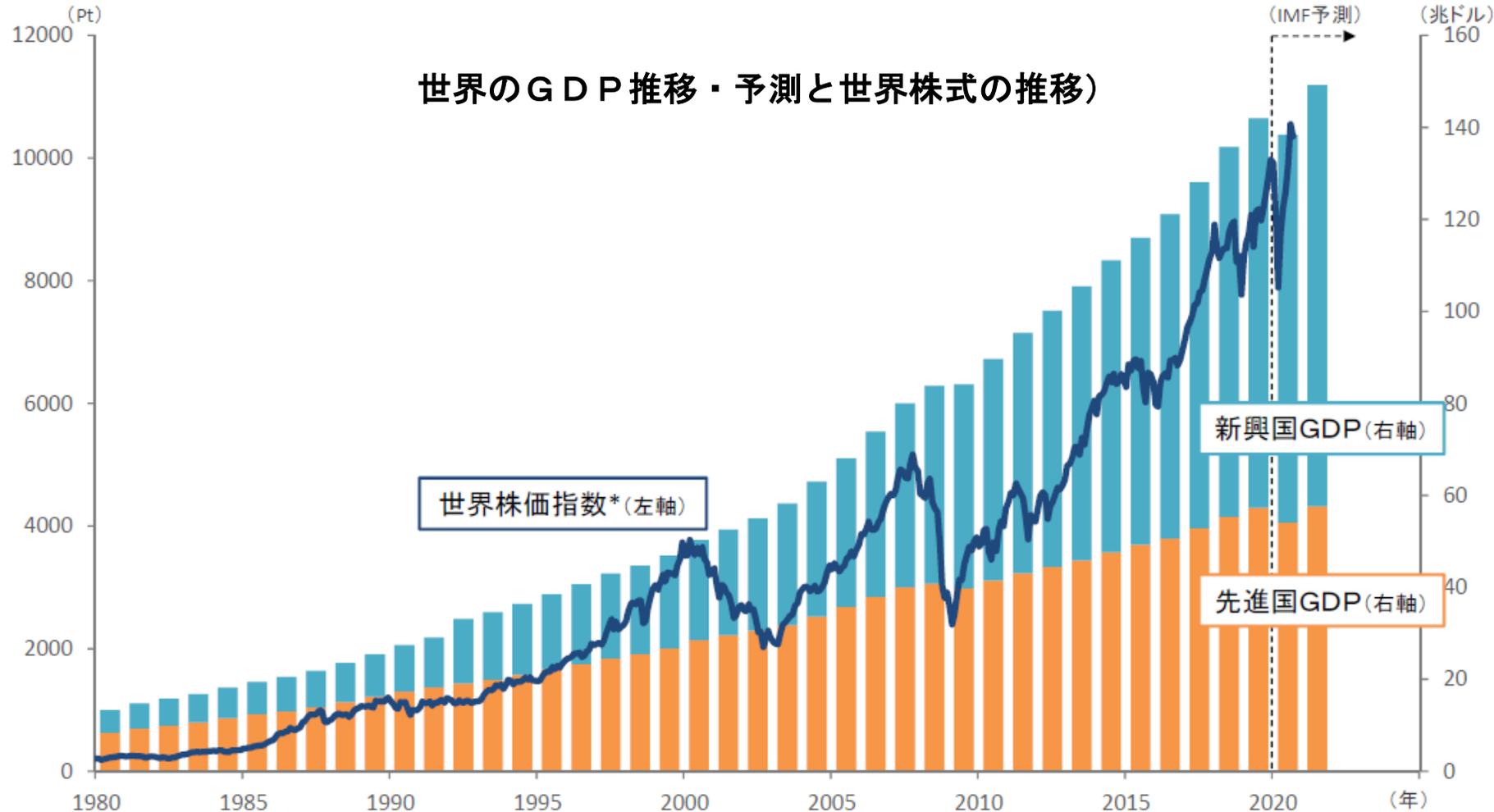




「経済は右肩上がり」という信念がベース

資産運用とはそもそも、経済成長の果実を長期投資によって得ようという行為。

短期的見ればスピード調節や下り坂はありますが、長期で見れば経済は成長し、株価もそれにリンクしてきました。



* 世界株価指数はMSCI World指数 (配当込み、税引き前)、GDPは購買力平価換算

※ IMF (World Economic Outlook Database, April 2020)、Refinitiv のデータをもとにエース経済研究所作成

5,747本

公募追加型株式投資信託数/2019年12月末現在

出所：一般社団法人投資信託協会

元本は2通りで用意できる

まとめて

一括で



毎月コツコツ

積立で





年率0.01%で運用しながら毎月取り崩す場合の月額取り崩し可能額

	10年	20年	25年	30年
1,000万円	8.3万円	4.2万円	3.3万円	2.8万円
2,000万円	16.7万円	8.3万円	6.7万円	5.6万円
3,000万円	25.0万円	12.5万円	10.0万円	8.3万円
5,000万円	41.7万円	20.9万円	16.7万円	13.9万円
7,000万円	58.4万円	29.2万円	23.4万円	19.5万円
10,000万円	83.4万円	41.7万円	33.4万円	27.8万円

●税金・手数料等は考慮していません。

●資産運用に関する考え方を示すことを目的としたものであり、特定の商品の利回り等を保証・示唆するものではありません。

本資料ご利用にあたり、お客様にご確認頂きたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。


どんな条件でどのように増えそうか

元本	年利回り	期間		
		5年	10年	20年
100万円	0.01%	100万円	100万円	100万円
	4%	122万円	149万円	222万円
	8%	149万円	222万円	493万円
500万円	0.01%	500万円	501万円	501万円
	4%	610万円	745万円	1,111万円
	8%	745万円	1,110万円	2,463万円

●計算は1ヵ月複利計算で、税金・手数料等は考慮していません。万円以下は切り捨てしています。

●資産運用に関する考え方を示すことを目的としたものであり、特定の商品の利回り等を保証・示唆するものではありません。

本資料ご利用にあたり、お客様にご確認頂きたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

お金の増やし方の方程式

いくら投じるか



×

どのくらいの期間
投じるか



×

どのくらいの利回りか



お金の増やし方の方程式

$$\text{元本} \times 20\text{年} \times \text{利回り}$$



「元本」について考えてみましょう




20年間一括投資した場合の増え方

	0.01%	3%	5%	7%	10%
100万円	100万円	181万円	265万円	387万円	673万円
200万円	200万円	361万円	531万円	774万円	1,345万円
300万円	301万円	542万円	796万円	1,161万円	2,018万円
500万円	501万円	903万円	1,327万円	1,935万円	3,364万円
700万円	701万円	1,264万円	1,857万円	2,709万円	4,709万円
1,000万円	1,002万円	1,806万円	2,653万円	3,870万円	6,727万円

●計算は1ヵ月複利計算で、税金・手数料等は考慮していません。

●資産運用に関する考え方を示すことを目的としたものであり、特定の商品の利回り等を保証・示唆するものではありません。

本資料ご利用にあたり、お客様にご確認頂きたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願致します。



20年間コツコツ毎月積立てた場合の増え方

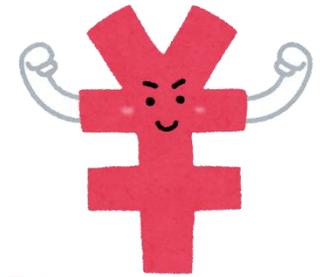
	0.01%	3%	5%	7%	10%
1万円	240万円	329万円	413万円	524万円	766万円
2万円	480万円	658万円	825万円	1,048万円	1,531万円
3万円	721万円	987万円	1,238万円	1,572万円	2,297万円
5万円	1,201万円	1,646万円	2,064万円	2,620万円	3,828万円
7万円	1,682万円	2,304万円	2,889万円	3,668万円	5,360万円
10万円	2,402万円	3,291万円	4,127万円	5,240万円	7,657万円

●計算は1ヵ月複利計算で、税金・手数料等は考慮していません。

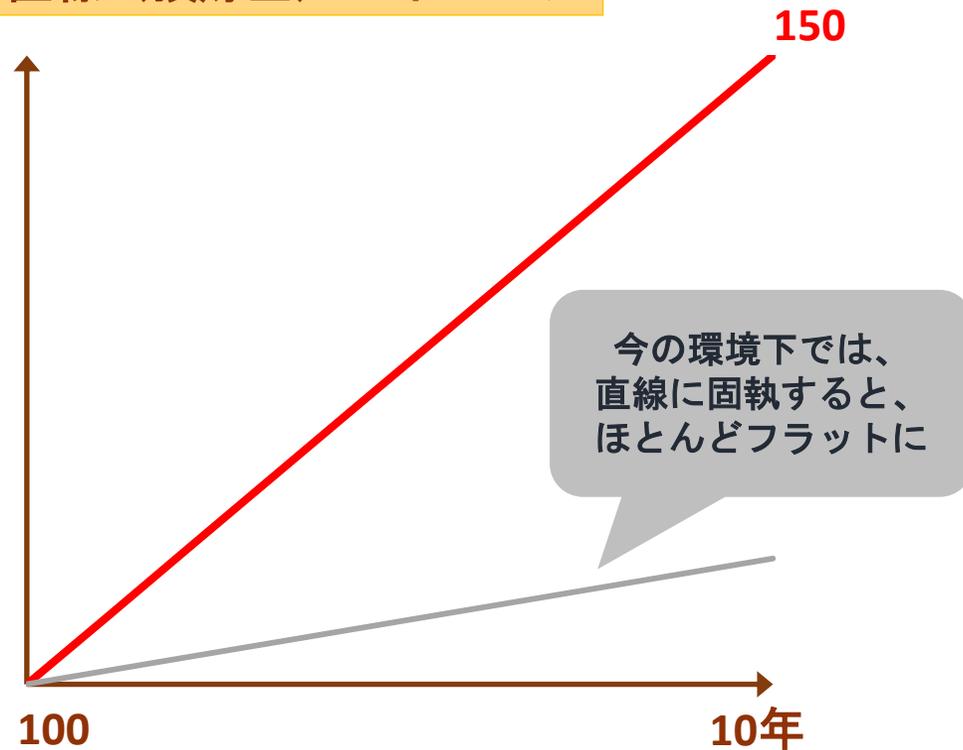
●資産運用に関する考え方を示すことを目的としたものであり、特定の商品の利回り等を保証・示唆するものではありません。

直線を諦めて、曲線を受け入れる

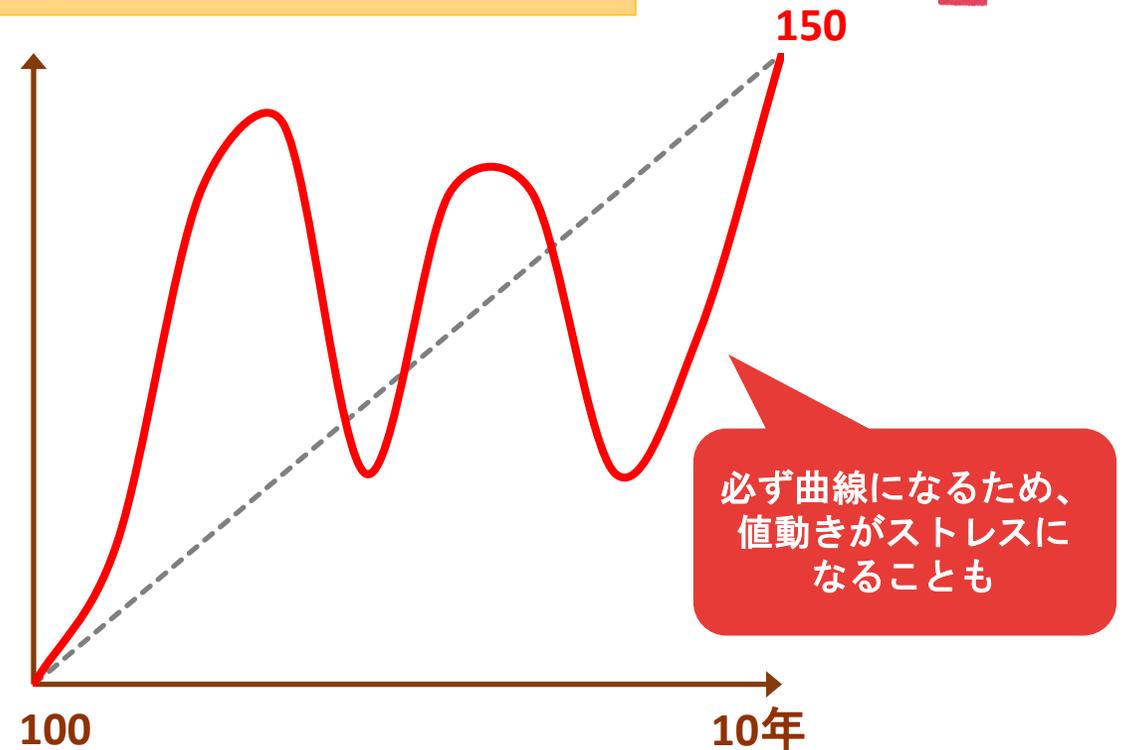
「“結果的”に年〇%になれば」と期待して、日々のストレスに耐える前向きな覚悟が資産運用では必要です。



直線（預貯金）のイメージ



曲線（リターン）のイメージ



投信積立は「本気の積み立て」で

下がって戻っただけなのに、利益が出ている不思議。それが投信積立のストレスであり、魅力です。



- 期間2000年1月末～2020年8月末 ●各月末の日経平均株価に定額積立をしたと仮定したシミュレーションです。税金・手数料等は考慮しておりません。
- 資産運用に関する考え方を示すことを目的としたものであり、特定の商品の利回り等を保証・示唆するものではありません。

「投信積立の不思議」の理屈



- 基準価格は1万口当たりで表示する習慣があるため、取得口数を求める際には最後に10,000を掛けます。
- 手数料などを考慮していません。

『金融商品取引契約に伴う手数料等諸費用とリスク事項等について』

●金融商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料等諸費用(国内株券の場合は約定代金に対して最大1.265%<100万円以下の場合、最低手数料2,750円>(税込)、投資信託の場合は銘柄毎に設定された販売手数料及び信託報酬等の諸経費)をご負担いただきます。また、投資信託の場合は銘柄毎に手数料等の上限額及び計算方法は異なります。

●各商品等の投資元本は保証されているものではなく、価格変動リスク、信用リスク、解約資金等の流出に伴うリスク、権利行使・契約解除の制限、為替リスク、流動性リスク、カントリーリスク等を主因として、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

●各商品毎に手数料等諸費用及びリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書(販売説明書)またはお客様向け資料をよくお読みください。

●「毎月分配型」及び「通貨選択型」投資信託の ①収益分配金に関する留意事項 ②通貨選択型投資信託の収益イメージ ③購入時の販売手数料の記載例は、必ずご確認して頂きたい重要事項となっておりますので、投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みください。